

市立病院では、今年6月、「地域包括ケア病棟」を6階西病棟(11室34床)に開設しました。今回は「地域包括ケア病棟」の特徴と役割についてお聞きました。

Q 地域包括ケア病棟とはどのようなものですか？

A 地域包括ケア病棟は、急性期治療を経過し、病状が安定した患者さんに対して、在宅や介護施設への復帰に向けた医療や支援を行う病棟です。市立病院は急性期病院として集中的な治療・看護を行い、早期退院を目指しています。そのため、一般病棟で症状が安定した患者さんには、早期に退院していただくこととなります。しかし、急性期の治療が一段落して病状が安定しても、退院後の自宅・介護施設での生活に不安がある場合や、介護施設への入所手続きに時間がかかる場合もあります。そのような患者さんが、安心して退院できるようサポートをしています。

Q それでは、実際に一般病棟から地域包括ケア病棟に入院するとどのようになるのですか？

A 医師・看護師・リハビリテーション担当者・在宅復帰支援担当者などが在宅復帰、施設入所へのお手伝いをします。なお、主治医は引き続き同じ医師が担当します。

